



高輪会会報

Reunion of Tokai University Takanawadai Senior High School

東海大学付属高輪台高等学校同窓会会報
(創刊号)

発行所：東海大学付属高輪台高等学校同窓会
〒108 東京都港区高輪2-2-16
Tel:03-3441-8234, Fax:03-3441-8238



題字は東海大学総長松前達郎先生

東海大学付属高輪台高等学校同窓会 第1回同窓会総会・懇親会を開催

創刊特別号

● 同窓会を「高輪会」と命名

■ 同窓生より新会長を選出

東海大学付属高輪台高等学校の第1回同窓会総会が、1995年9月30日(土)に新高輪プリンスホテル国際館パミールで開催されました。創立50年にして初めての同窓会総会です。渡辺修学校長の挨拶に続き、学校長を同窓会会長としていた会則を改め、同窓生から新会長に上島弘安氏、副会長に土方啓司氏と上条秀夫氏、監査に森公法氏と木俣博匡氏を選出しました。また、会長より幹事10名の委嘱を行い新体制で活動を開始することとなりました。(3面に関連記事)

■ 同窓会活動の活性化

卒業生数は、1945年度から95年度までの累計で1万7千名を越えており、活躍する同窓生の交流は仕事の上にも、豊かな人生を過ごす上にも大変有意義なものと考えられます。新体制による同窓会活動では、会報の発行、同窓会名簿の充実、同窓生交流の企画、在校生との企画、さらに東海大学高等学校連合同窓会への参加など、多角的に活動の活性化に取り組む方針です。

■ 高校現況・男女共学化計画を紹介

高輪台高校の現況について、鈴木政雄教頭よりご紹介いただきました。剛健旅行や海外修学旅行実施等の現況紹介の他、1998年の新校舎竣工計画、全普通科・男女共学化計画が紹介されました。



第一回総会



懇親会会場にて

● 参加者200余名の盛会

■ 現・旧の先生方も多数参加

総会終了後、同ホテルにて懇親会を開催しました。現・旧の先生方・職員の方々にも多数ご出席いただき、200名を越える参加者を得て非常に盛会でした。開会にあたり、前田勝介元学校長、薮田敏弘前学校長にご祝辞をいただきました。宴会になると、懐かしい先生や友人との再会に喜びの声が聞かれました。

■ 家族参加も歓迎

懇親会には家族同伴でご出席いただいた会員も多くいらっしゃいました。ご夫人やお子さんの参加により、懇親会会場の雰囲気が大変和やかになり好評でした。中には、結婚後間もないと思われるご夫婦や彼女?を同伴する若い同窓生もあり、今後も家族と気軽に参加いただける親しみやすい同窓会・懇親会にしたいと思います。なお、当日は高輪台高校で建学祭(高校文化祭)が開催されており、総会前に母校を訪れた参加者も多かったようです。

■ 3年後の新制50周年を目指して

次の同窓会総会は1998年の開催予定です。この年は東海大学付属高輪台高等学校が新制50周年を迎える記念の年にあたります。同窓会としても記念のイベントを行いたいと計画しており、この際に新校舎見学会や女子生徒一期生を迎えた高校の様子も紹介したいと考えています。

◆ 新旧同窓会会長の挨拶

■ 「同窓会」の活性化を目指して

同窓会会長 上島 弘安

「同窓会」これは何をやる会？何のためにあるの？こう問われた時、明快に答えることが出来る人がいますか？私は漠然と入会金を払い後は誰かが何とかするであろうとしか考えていませんでした。

会則によれば①会員相互の親睦、②母校の発展に協力すること、と有ります。本校を昭和26年3月卒業以来40数年の歳月が過ぎていますが、その間一度も会報及び総会の連絡はなく、私と学校を結ぶ絆は断たれた状態にありました。しかし何度か同窓会名簿整備のため学校に足を運ぶ機会があり、その都度学校の変貌ぶりに驚きを感じていました。

人に歴史があるように、学校にも歴史があります。私が本校に入学したのは昭和20年4月のことでした。「国防理工学園・電波工業学校」これが当時の校名でした。終戦を経て何度か校名変更がありました。私たちが卒業生に校名変更の事実、その理由は知らされていません。現在の校名が自分の出身校だと知らないとなれば悲しいことだと思います。卒業生の住所が不明が多いこと、連絡通信費が無いこと、理由はいくつか有ると思いますがやはり知らせたかったです。

入学試験シーズンになれば母校の応募状況が気になり、甲子園の予選が始まれば勝敗の新聞記事に一喜一憂するのは私ばかりではないと思います。現在の学校の様子、お世話になった先生方の消息を皆様にお知らせすることも同窓会の仕事ではないかと思えます。

同期会のこと、社会で活躍している友人のこと、情報交換の場として皆様に同窓会が利用されることを願っています。同窓会は半世紀の長い間冬眠していました。昨春以来、同窓会名簿の刊行、会則の変更、新高輪プリンスホテルでの盛大な総会等、活性化に向けて発進したばかりです。皆様のご意見ご協力により親しみやすい同窓会にしたいと考えています。



上島弘安 会長



渡辺 修 校長

■ ごあいさつ

東海大学付属高輪台高等学校
校長 渡辺 修 先生

本校は戦前の甲種工業学校としての4年間を加えますと、もう既に半世紀を越える歴史があります。この間、17,000名を越える卒業生を世に送り出してきました。その一方、本校の同窓会は開校以来組織としては存在してはいたようですが、実質的な活動はしていませんでした。また、45回の卒業生を出してはいるが、同窓会名簿も一度も発行されませんでした。しかし昨年、本校の同窓生でもあります教員が中心となって同窓会名簿の発刊を見ましたことは大変うれしく、刊行委員の皆様にお礼申し上げます。さらに昨年9月末日に初めての同窓会総会が、多数の幅広い年齢層の会員の参加により開催されました。新しい会則が承認され、会長を初めとする新役員が選出されましたことは、この上ない喜びでございます。ここに至るまでの数カ月間、幾度も会合を重ね準備をしてくださいました幹事の方々には、心より感謝申し上げます。これを機に同窓会の活動も活発となり、今まで疎遠であった人達が旧情を暖めることもできるのではと期待しております。

さて、本校は卒業生の皆様のご活躍により、年々評価と期待も高まり、今日では学校法人東海大学の一員として、一貫教育の一翼をしっかりと担っています。近年では卒業生の90%内外が東海大学へ進学、他の生徒も多くは進学するという名実共に進学校としての高い評価を得るようになってきました。そして今、将来のさらなる飛躍を期して、新校舎建設、男女共学への移行等を視野に入れて新たな学校作りをはじめとしています。都心に位置し、学園の顔として誇れる学校にして行きたいものと考えています。同窓生の皆様のご今後益々の暖かいご支援ご鞭撻を願う次第でございます。

◆ 総会議事・事業計画紹介

■ 議案

つぎの議案が総会において承認されました。

第1号議案 経過報告について

東海同窓会（昭和26年誕生）から今日までの経緯。

第2号議案 会計報告について

同窓会決算報告書（1950年-1994年）。

第3号議案 規約改正について

同窓会を高輪会と称する。同窓生より会長を選出する。

活動体制の制定。入会金・維持会費の改定。他。

第4号議案 新役員選出について

会長、副会長、監査の選出。以下に紹介。

■ 役員改選

1) 会長、副会長、監査の選出

会長 上島弘安（S26年卒）

副会長 土方啓司（S36年卒）、上条秀夫（S37年卒）

監査 森 公法（S57年卒）、木俣博匡（S27年卒）

2) 幹事の委嘱

松原健次（S33年卒）、佐藤 毅（S35年卒）、

中島洋介（S40年卒）、猪尾廣志（S41年卒）、

浅野修一（S48年卒）、伊藤光一（S51年卒）、

中村則之（S54年卒）、井上徳之（S55年卒）、

荒木修一（S57年卒）、佐藤 潔（S62年卒）

3) 名誉会長・顧問

名誉会長 渡辺 修 先生（学校長）

顧問 鈴木政雄 先生（教頭）

■ 事業計画

以下に新体制による同窓会活動を紹介します。

◆ 同窓生への情報提供と交流促進

■ 同窓会住所録（1995年版）を発行

1995年6月に同窓会住所録を発行しました。同窓生総数約1万7千名のうち約1万名の住所を記載しています。また、現・旧教職員も掲載しました。すでに販売しておりますが、若干の在庫がございます。

■ 同窓会会報の発行

本紙を第1号（創刊特別号）として、同窓会会報を毎年発行する計画です。会報を通して、会員を結ぶ種々の企画や情報をお届けする予定です。

■ 50周年記念誌の編纂

3年後に迎える新制高校50周年の記念事業として、新制50周年記念誌編集を念頭に必要な資料の整理を始めます。特に、設立から今日までの本校の歩みを示す写真等の資料をお持ちの方は提供をお願いします。

■ 異業種交流会の開催

種々の分野での活躍する同窓生を紹介し、交流を促進することを目的として異業種交流会を開催します。今年は7月20日（土・祝日）の開催で、まず講演会で同窓生等に各業界の様子を紹介していただき、引き続き懇親会・名刺交換会を行います。

◆ 在校生・新会員への活動

■ 同窓会入会式

本年度卒業生より卒業式の前に同窓会入会式を行います。卒業式には会長が出席し祝辞を述べます。なお、本年（1995年）度より、卒業時に新会則で定めた同窓入会費を納入いただき、会報と卒業後最初に発行される同窓会名簿を贈呈します。なお、宛先不明の方にはお届けできませんので、住所変更の際は必ず事務局へお知らせください。

■ 在校生とOBの懇談会実施

同窓生の豊富な経験を高校教育に活用していただくため、生徒がOBを囲む講演会・懇談会を実施する計画です。主に放課後に自由参加で開催し、テーマを設けて同窓生からの社会の情報を受けとめてもらいたいと考えています。

◆ 東海大学高等学校連合同窓会の紹介

■ 東海大学の各付属高校同窓会が連携

東海大学高等学校連合同窓会では、付属高校の同窓会同士が連携して交流を行い、情報交換や共同の企画を行っています。毎年、全国の付属高校が回り持ちで総会を開催し、昨年（1995年）8月には東海大学第二高校を当番校に、熊本において記念すべき第20回総会を開催しました。高輪台高校同窓会からも2名の代表がこれに参加し、本同窓会の現況と活動計画を報告し、各校同窓会からご助言ご声援をいただいております。また、先の本同窓会総会後の懇親会には高等学校連合同窓会を代表して戸塚雅夫会長（相模高校同窓会）にご出席いただきました。今後も各付属高等学校の同窓会が連携して交流を深め、有意義な活動を展開していきます。紹介を兼ねて、第20回熊本大会での会長挨拶を掲載します。

「高等学校連合同窓会・20回目の総会を迎えて」

東海大学高等学校連合同窓会会長・戸塚雅夫氏

今回、創始者「松前重義先生」の生誕地熊本第二高校のお世話で20回目の総会を迎えますことは感慨無量なものがああります。20年前、松前重義先生のご出席をいただいて霞ヶ関ビル「校友会館」で創立総会を行って以来、様々な施行錯誤を繰り返しながらやってきました。ひとえに同志の皆さんと学園を中心とした関係各位のご協力のおかげと心から感謝申し上げます。「政治・経済・社会・教育」あらゆる面で世界は混沌としている中、いまこそ「東海大学建学の精神」が、世界に求められているのです。その意味で成人を迎えた我々の果たす役割は大きいものがあると思います。学園の発展はすなわち世界の発展につながります。25年に向かって皆さんと共にさらに、さらに輪を広げながら学園の発展のためがんばりましょう。

東海大学付属高輪台高校の 現況紹介（学校行事紹介）

現在、高輪台高校で実施している行事を紹介します。
このコーナーは行事担当の先生方に記事をいただき、
紙面に合わせて同窓会で編集したものです。

◆ 修学旅行で海外へ

■ 海外コースはオーストラリアとハワイへ

1995年度より本格的に海外研修が実施できるようになりました。本校の長い歴史の中でも画期的な出来事です。

今年の3年生は、1年次に海外3コースの候補から保護者や生徒の希望をとり、オーストラリアとハワイの2コースで実施しました。国内旅行も同様に、北海道コースを実施しました。特に、海外旅行にあっては、保護者会を開催し理解と協力得た後、研修旅行委員や学年団の踏ん張りにより準備が進み、実施に向けて万全を期しました。

この海外旅行における体験は、見るもの聞くもの全てが感動するものばかりでした。時間がゆったりと流れていく印象は、未だ忘れることができません。旅はどこでも、いつでも、何であれ、我々に感動と素晴らしさを与えてくれるものです。この研修旅行が参加者一人ひとりの今後の人生の糧となることを願っています。

■ オーストラリアコース紹介(1995.9.9~9.14)

成田空港ーシドニー国際空港ーメルボルン空港ーコモハウスービクトリア州立博物館ー王立植物園ーホテル/メルボルン市内自由研修ーフィリップ島・ホテル/学校訪問(Bramer College、昼食はバーベキュー)ーシドニーホテル/フェザデル動物園ーオーストラリア博物館ロックス地区ーオペラハウスーミセスマックォーリーズチェアーシドニータワーー免税店ーホテル/シドニー国際空港ー成田空港



◆ 剛健旅行を嬋恋村で実施

本校では例年、夜間競歩大会「剛健旅行」を行っています。この行事は、運動の機会や自然と触れ合うことの少ない本校生徒に、次の5つの目標を持って実施しています。
(1)質実剛健の精神を養う、(2)自己の限界を把握する、(3)歩くことに興味を持ち、その意義を発見する、(4)身体を鍛錬し、困苦に耐えて事を成就する強固な精神を養う、(5)雄大な自然との融合の中で、新鮮な喜びを感得する。

当初は奥多摩コースで実施しておりましたが、交通事情などの関係から22回目より群馬県嬋恋村で実施しております。本年度もスタートは午後6時、ゴールは午後10時~翌朝5時で、完歩者が全生徒の98%を超える結果を残しました。この行事は、高校時代の良き(辛い)思い出として卒業後も記憶に留めている方が多いと聞いております。



オーストラリアコース



"May I take a picture?"
カンガルーが会話のきっかけに



他の国からもホームステイの人が



ハワイコース



◆ 建学祭

文化祭は年々「祭」の部分を中心となり「文化」の部分がかたくなっていく感があるので、今年は遊びの部分を少なくして文化にチャレンジするように呼びかけました。その視点に立って注目すべき展示をあげてみます。

まず、この夏全国大会で高い水準を示した演劇部は、サスペンス仕立ての面白さを狙ったもので、「おまえは何者」という問いかけが、先頃評判のベストセラー「ソフィーの世界」の基本命題に通ぶものがあって人間の根元をちらつかせる奥の深いものがありました。3年B組製作のオリジナルビデオは、カットによってはぞっとするくらいの美しさ、また都会の不条理性を映像化しており、若者の直感的センスの素晴らしさに内心驚きました。舞台におけるライブ演奏は相変わらず人気が高い。これこそ老若男女問わず参加しています。樗屋食堂のお母さんたちがエプロン姿でじっと聞いているのが印象的でした。特に、音楽にとけ込んでいる本校生徒の目が普段教室では見られない美しさです。各バンドは個性があって音色も違っていました。

今年の建学祭は「祭」としての盛り上がりと同時に、普遍的文化を求めて確実な歩み出しが見られました。テーマの「change」＝「変革」は短時間では完成しませんが、今、出始めた文化の芽が、今後大切に育てられることを期待します。
※「樗祭」は名称を「建学祭」と改めて実施しています。



◆ 自主活動

本校は狭い敷地の中で体育等を実施しています。自主活動は、普段の学校環境にない場所で伸び伸びと過ごしてもらうために考えられました。毎年5月、9月の2回に分けて実施しています。

5月はクラスごとに自主活動の内容を決めています。活動時間は9時から15時までとし、映画鑑賞、ハイキング、散策、ボーリング、バーベキューなどが実施されています。

9月は東海大学湘南校舎で開催しています。目的は、(1)東海大学の施設、設備の有為な活用と紹介、(2)自主性に富んだ積極的な姿勢作り、(3)雄大な自然と広大な敷地での活発な活動、です。サッカー、野球(ソフトボール)、テニス、水泳、バレーボール、バスケットボール等の競技種目を行っており、大学図書館で読書をする生徒も見受けられます。各クラス2名の委員で委員会を構成し、生徒自身で企画、準備、運営を行っています。この体験を通して協調性を養い、生徒間の和を生み、自主的な行動力を育てると共に、生徒間全体の活性化を図ることを目標に実施しています。なお、雨天の場合には、総合体育館(屋内)を中心の活動になります。東海大学図書館は200名の生徒が利用可能です。

この自主活動は生徒にとって「青春の良い汗」を流す格好の場となっています。

◆ 学園オリンピック・クラブ活動

1995年8月に学園オリンピック第30回スポーツ大会が開催され、ソフトテニス、バスケットボール、バレーボール、剣道、陸上競技、卓球、サッカー、バドミントン、柔道等の競技に参加しました。高輪台高校は全国レベルの東海大学付属各校の中で健闘し、団体の部で卓球部とバドミントン部が3位の活躍をした他、放送部が参加して大会運営を支えました。また、英語部門や数学部門の学園オリンピックも開催されており、高輪台高校生は最優秀賞をとる活躍をしています。

1995年夏のクラブ公式戦結果(入賞等)は次のとおりです。卓球部：高体連主催地区別学校対抗城南地区3位、吹奏楽部：東京都高等学校吹奏楽連盟主催第35回東京都高等学校吹奏楽コンクールA組銅賞、演劇部：第41回全国高等学校演劇大会優良賞文化連盟賞、また、財団法人日本科学技術振興財団「青少年のための科学の祭典」全国大会にて松尾泰典君と長妻宏樹君が個人表彰を受けています。

◆ 全普通科・男女共学化への道程

教頭 鈴木政雄 先生

■ 社会変化と生徒数激減時代の到来

最近、とみに普通科志向・共学化志向が強まってきた。経済や社会の激しい変化が、教育の見方・考え方に反映しているのかもしれない。高校受験者減少が叫ばれた当初、男子校に比べて女子校、そして専門高校、特に職業高校の存続が非常に危惧された。ところが今は、最も危惧されていた女子校や職業高校の人気が出始めた。大学においてもしかりで、ダブルスクール推奨から資格取得を实践する大学も目立ち始めた。曖昧な教養教育は軽視され、大学のプラクティカルスクール化が進んでいる。

■ 全普通科・男女共学化の決断

こうした情勢を受けて、本校でも早くから普通科への一本化や男女共学化の実現は教職員間の話題となっていた。ただ、そのための条件が整わず苦慮していたが、それにも増して生徒減少の影響は大きく存続のためには猶予なく、やっとの事で伝統の工業科募集停止、男女共学の決断に至った。

■ 新校舎建設し、2年後スタート

想い出の校舎も壊され、この7月からは新校舎の建設のかけり、2年後の98年、新校舎の竣工に合わせ、全普通科・共学化が始まる。施設設備を初めとするハード面は素晴らしいものが期待できる。問題は教育内容、いわばソフト面の強化。多くの卒業生の思いを背に負って私たち教職員は、ソフト面での先進的な挑戦に努力しようと考えている。先輩諸氏のご支援、ご鞭撻を。



教室風景 制服がブレザーに



現在の校舎

◆ 新校舎建設計画

■ 1996年9月着工予定

新校舎建設については、1986（昭和61年）に初めてその構想が打ち出されて以来、現在までに3度の変遷を得てようやく今日の決定を見るに至っています。狭い土地で、しかも規制の厳しい中にある本校で、条件をクリアーしての建設が如何に大変か思い知らされながら、準備を進めています。新校舎の建築計画は以下の通りです。

■ 建物概要（計画）

1. 階数：地下2階、地上7階、塔屋1階
2. 建物の高さ：33.6m（敷地南側GLより）
3. 床面積：19,040㎡（現状7,582㎡の2.5倍）
この内、体育館床面積は2,600㎡（現状457㎡）
4. 工期：1996年9月～1998年3月

◆ 東海大学付属高輪台高校の沿革（抄）

昭和

- 19.4.1 電気通信工業学校開校（港区高輪）。校長に小船井敬吉就任。
 - 19.4.1 電波工業学校開設（中野区江古田）。校長に水橋東作就任。
 - 19.11.7 「財団法人国防理工学園」、「財団法人電気通信工学校」を吸収合併。
 - 20.8.18 水橋東作氏、電波工業学校長を辞任。
校長事務取扱は富山小太郎氏。
 - 20.8.20 電気通信工業学校と電波工業学校とを合併して「東海工業学校」と改称。
 - 20.9.1 東海工業学校長に多田元一就任。
 - 22.4.1 教育制度改革により、東海工業学校に東海中学校を併設。
東海工業学校は江古田より高輪校舎に移転。
 - 23.4.1 学制改革により「東海高等学校」（工業科、普通科）創設。
校舎の都合により普通科および中学校は生徒募集を中止。
 - 24.4.1 東海中学校生徒募集を再開。
 - 26.3.7 「財団法人東海大学」は新制度の「学校法人東海大学」に改組。
 - 27.4.1 「東海高等学校」を「東海電波高等学校」と改称。
 - 29.3.31 併設東海中学校を廃止。
 - 32.4.1 電子科設置。
 - 32.5.15 実験館竣工。
 - 35.2.18 高輪台町33番地に、鉄筋コンクリート2階建て校舎を落成。
 - 35.4.1 計測科及び原子科設置。
 - 37.10.13 本館の地下1階と3階及び4階増築。
 - 38.4.1 普通科設置。
 - 40.4.17 法人を分離し、学校法人「東海高輪学園」と改称。
 - 40.7.12 2号館落成。
 - 43.4.1 「東海電波高等学校」を「東海大学高輪台高等学校」と改称。
 - 46.5.12 増築校舎落成。
 - 55.4.1 東海大学高輪台高等学校名誉校長に多田元一就任。
学校長に前田勝介就任。
 - 63.4.1 工業科を改革し、情報理科と電子通信科を新設。
- #### 平成
- 1.4.1 東海大学高輪台高等学校校長に薮田敏弘就任。
 - 2.4.1 東海大学高輪台高等学校を東海大学付属高輪台高等学校と改称。制服がブレザーに変わる。
 - 2.6.1 「学校法人高輪学園」は「学校法人東海大学」と合併。
 - 6.4.1 東海大学付属高輪台高等学校校長に渡邊修就任。

◆ 懇親会ご出席の来賓紹介

懇親会にご出席いただいたご来賓（現旧教職員）の方々を紹介いたします（敬称略）。

■ 旧教職員

久保貞吉、前田勝介（元校長）、藪田敏弘（前校長）、鈴木敏夫、松元崇、河西勇、宮本俊春、佐藤雄治、志村義樹、小桧山磐、清水智明、熊谷勉、景晴正、鈴木不二也、小泉東一郎、清水恒二、見村敏郎、橋本知時、酒巻通、中山美佐子、栗田出、穂積勉、成田吏、広瀬洋一、園部和義

■ 後援会および同窓会関係者

鈴島健（東海大学付属高輪台高等学校後援会会長）、戸塚雅夫（東海大学高等学校連合同窓会会長）

■ 現教職員

渡辺修（校長）、河辺吾男、佐藤直彦、伊藤明、鈴木政雄、毛利均、久保田邦明、疋田満、中島洋介（S40年卒）、大津正満、若林政和、高木公子、松原健次（S33年卒）、滝沢讓、内田輝雄（S38年卒）、梶野雄二、飯田雅美、野崎和夫、佐藤弘衛、直井寛、塩崎親宏、松橋敬一、渡部晃、杉本由明、若井牧夫、高橋芳枝、若林喜美江、深田二義、堀正光、森下秀夫、本間直紀、斎藤博、高橋幸夫（S46年卒）、須藤昇、加賀谷ノリ子、植野一朗

◆ 総会・懇親会出席の同窓生

久保本博21、山野井宏21、江川雅介21、荒井利昌25、熊沢勇25、長門新八25、大副浩三25、上島弘安26、比留間信光26、井出健一26、木俣博匡26、奥山貞勇26、坂路誠26、清水正三26、鷹取将夫26、山野耕作26、矢野智司26、中原将之30、宮嶋信清34、田村吉弘34、堀江俊夫35、小林正二35、佐藤毅35、長野孝和35、菅野宏三36、藤尾智36、胡屋謙一郎36、長谷川徹36、土方啓司36、池田謙三37、原田廣正37、飯田道夫37、上条秀夫37、松原泰正37、澤健之37、金山茂雄37、谷野雄一37、内田輝雄38、田中宏39、清野文雄40、内田稔40、宮沢淳40、塚本民栄40、渡辺一男40、三浦政彦40、宮崎和彦40、斉田英道41、吉田厚英41、猪尾廣志41、福崎克己41、伊藤兼夫41、持田民雄41、高橋久幸41、松岡幹雄41、高松聡41、平山收41、町田晴男41、高橋良一41、青木兼昭42、河合洋一42、山田敏雄42、中西政保42、石井和近42、池田伸42、武田信夫43、武田信夫43、清水精二43、馬場徳芳43、原竹博43、田中栄43、田中武43、松本直樹43、村越学43、北堀清治44、江坂悦基44、古川清裕44、池田正樹44、大友隆一44、前田哲二44、藤本達雄44、須山俊一45、安田二三男45、福松貞夫45、石黒孝夫45、平野茂45、三橋興司45、渡辺勤45、布施憲一45、池田公行45、伊藤弘46、白井章二46、柳町義夫46、阪井清隆47、黒岩慶一47、小沼真一47、服部忠昭47、福山秀彦47、宮田八十彦47、小橋勝之47、谷内進47、戸塚伸吾47、永井義久47、本田正樹47、青木修吾48、高橋忠夫48、浅野修一48、橘川昌樹48、大滝清三49、曾根原徳之49、林悦明49、佐々木博之49、片桐直己50、菊地建一50、小林清一50、新野信行50、森良一50、矢橋信之50、鈴木修50、大矢暁50、川崎秀秋51、伊藤光一51、河原田憲51、遠山靖常51、伊藤祥隆51、細田賢治51、唐橋美一51、神谷幹夫51、大島和伸52、小野広志52、金井道義52、座間紀彦52、鈴木崇夫52、宮沢靖52、沢井宏之52、原田清美52、河合哲郎52、神長義明53、谷口元53、真船峰雄53、中村則之54、仁木智54、伊藤均54、穂積久司54、嶋田政和54、田村茂雄54、森下浩行54、富永光一54、佐々木浩一54、小川主55、石田勝巳55、土屋徹55、白尾直樹55、井上徳之55、久保田雅之55、加藤靖久56、奥野吉明56、津滝了56、白鳥政志56、磯村潤一56、長瀬立56、森公法57、荒木修一57、久保田裕57、佐藤俊郎57、亀岡浩58、入澤綱夫58、柴山昌夫59、泉谷剛59、石崎俊宏59、平野賢吾60、磯正倫60、高橋善雄60、平山善裕60、田村克也60、関谷努61、尾上雅昭62、佐藤潔62、森宏之62、餌差徹62、日比野豊62、川崎康元63、加藤大典63、荒井力丸63、三隅慶輔63、森利官63、井沼文63、一枘靖人63、味戸厚二63、高井武一郎63、富田耕正63、高橋聡彦63、長島誠吾63、会田渉H1、濱組友基H1、山崎裕一H2、篠宮智男H2、本田哲也H2、樋口浩一郎H2、三枝為好H2、石川丈晴H3、永田信一H3、竹内栄二郎H4、望月政洋H4、青山将之H6、沢田孝一H6、

※氏名の後の数字は卒業年（昭和で記載、Hは平成）を示します（敬称略）。



◆◆◆お知らせ◆◆◆

同窓会活動のご案内です。お申し込み、お問い合わせは、同窓会事務局までお願いします。同封のハガキをご利用ください。

■同封のハガキをご返送ください(6月末日まで)

連絡先確認のため、ハガキを必ずご返送ください(全員)。各イベントの申し込み書も兼ねています。近況・ご意見は、次号作成に活用させていただきます。クラス会の予定、開催報告も会報に掲載いたしますのでご連絡ください(随時受付)。なお、住所変更の際は必ず同窓会事務局までご連絡ください。

■高輪会(同窓生)異業種交流会

次回総会(1998年開催予定)まで、年1回程度の小規模な同窓会活動を行います。今回は異業種交流会として、同窓生3名と、高輪台高校の若手教諭1名に話題提供をお願いしました。講演会終了後、親睦会(名刺交換会)を行います。

と き:1996年7月20日(土)祝日、13時受付
講演会13時半~15時、懇親会15時~17時
ところ:東海大学校友会館(霞ヶ関ビル33階)
会 費:5000円(講演会・懇親会参加費)

講演会講師とテーマ(予定)

- 「中国経済と日本貿易の行方」
横河ウエザック(株) 上条秀夫氏(S37年卒)
- 「インターネットとは・東海大学におけるその利用」
東海大学理学部基礎教育研究室 荒木修一氏(S57年卒)
- 「東海大学付属高輪台高校と私」
東海大学付属高輪台高等学校 川畑元子先生(国語教諭)
- 「規制緩和措置とJIS改定の関連性」
金門電気(株) 土方啓司氏(S36年卒)

■東海大学高等学校連合同窓会20周年記念式典

東海大学高等学校連合同窓会では20周年記念式典を、1996年6月頃に東海大学校友会館(霞ヶ関ビル33階)において開催します。参加希望の方には、後日詳しいご案内を差し上げます。会費5千円程度。

■同窓会名簿の販売

1995年版同窓会名簿を販売中です(在庫限り)。なお、次号は1998年の発刊予定です。

■年報「高輪台の歩み」贈呈

1年間の高輪台高校の記録が204ページに納められています。資料として第1回総会の出席者全員に配布いたしました。母校の現況を知る上で大変よくまとまった報告書なのでご希望の方に贈呈します(無料:在庫限り。但し、郵送料390円切手同封にてお申し込み下さい)。

■維持会費納入のお願い

会員の皆様には維持会費の納入をお願いいたします。1年分(2千円)または5年分(1万円)で受けさせていただきます。同窓会立ち上げの時期でもあり、可能な方は、5年分で納入いただければ幸いです。同封の振込用紙をご利用ください(手数料払込人負担)。

振込先:

- ①郵便局
口座番号:00100-9-155498
口座名(加入者名):高輪会
- ②富士銀行麻布支店
口座番号:1590548
口座名:高輪会 会長 上島弘安
金額:5年分1万円(または1年分2千円)

※氏名に卒業年度を添えてください。

■維持会費納入キャンペーン実施

会費を5年分納入いただいた方にもれなく、1年分納入の方は抽選で、記念品を贈呈いたします。キャンペーン対象:1996年7月末日振り込み分まで。

■第2回総会の予定

次回(第2回)の総会は、新制高校50周年記念にあわせて1998年秋頃の開催予定です。全普通科・男女共学化も実施予定で、新校舎見学会も開催したいと思います。

編集後記

昨年4月、第1回同窓会理事会が召集されました。卒業時にクラスで選出されていた事など忘れていました。同窓会活動の活性化へ向けて動き出し、総会開催、規約改正のハードルを越え、懇親会も大盛会でした。同窓生の強力なパワーと学校の全面的な協力に支えられ、1年足らずで会報創刊まで実現できたことを嬉しく思います。この活動が、同窓生の希望を星につなげる新しいスタートになりますように。



総会受付にて

同窓会連絡先

東海大学付属高輪台高等学校 同窓会事務局
〒108 東京都港区高輪2-2-16
Tel:03-3441-8234, Fax:03-3441-8238